

推薦図書

『Graphic Recorder - 議論を可視化するグラフィックレコーディングの教科書』

清水 淳子 著

ビー・エヌ・エヌ新社

推薦教員

福祉心理学科

関谷 大輝 准教授

皆さんは、ノートやメモを取る時に何を意識しているでしょうか。例えば最近の授業はスライドを使うことも多いので、「スライドの文字を全て写すのに必死」という人も多いかもしれません。しかし、他人が作ったスライド上の文を、ただ何かの修行のように全て写し取ったところで、おそらく記憶には残りません。下手をすれば、後からノートを見直した時に、それが一体どういう意味なのかさえ理解できない（思い出せない）場合さえあるはずです。

そこで身につけておくとよいスキルのひとつが、この本で扱われている「グラフィックレコーディング（グラレコ）」です。日本語で言えば、「視覚的に図解して記録すること」といった感じでしょう。グラレコを意識すると、これまで文字だらけでダラダラと（あるいは断片的に）書いていたノートが、パッと見て流れやポイントが分かりやすいノートに生まれ変わります。もちろんある程度練習は必要ですが、そのためのコツのいくつかをこの本から学べるはずですよ。

実は、グラレコのスキルは、ノートの取り方だけではなく、「考え方」や「物の見方」、「話の聞き方」、「プレゼンテーションの組み立て方」など、多方面のスキルと密接に結びついています。このため、授業のノートはもちろん、会議の書記や他人に何かを説明する時の図解化など、応用できる場面が数多くあるのです。このスキルをある程度使えるようにしておけば、将来「仕事がデキる人」と見られやすくなり、収入アップにつながることも期待できます。

マンガやイラストを書くことが好きな人は特に、グラレコには親しみが持ちやすいはずですよ。とはいえ、私と同じように絵を描くことが得意ではない人も、このグラレコ的な「思考の枠組み」を意識しておくことはとても有用です。この本以外にも、グラレコ関連の本はいくつも出版されていますが、まずは図書館に所蔵されている本書から、グラレコの世界をのぞいてみてください。



教員推薦図書架に展示中です。
ご覧下さい。



図書館職員おすすめ本を展示中です。
ご覧下さい。